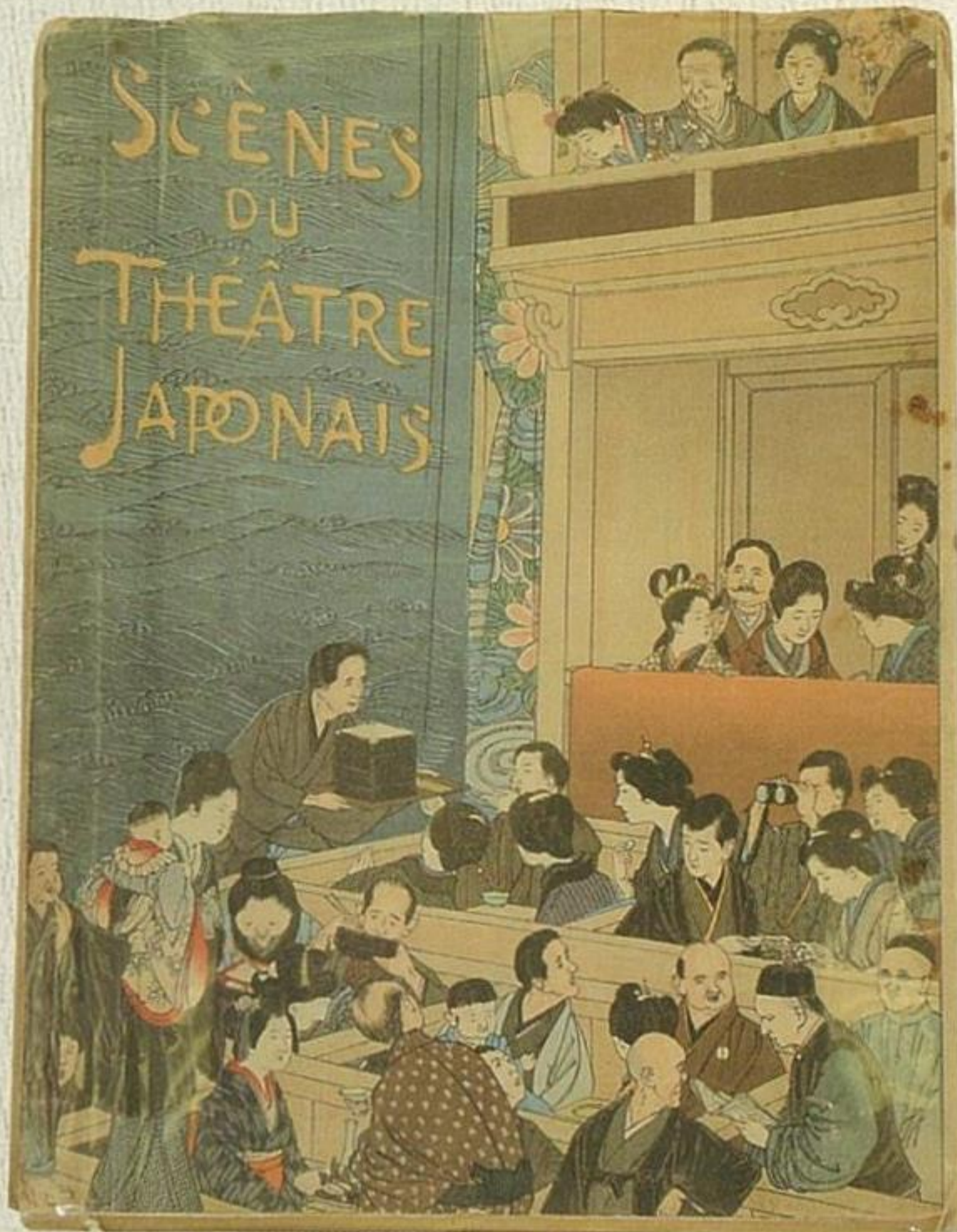


単発挿絵本

# LECOLE DE VILLAGE(TERAKOYA) 寺子屋

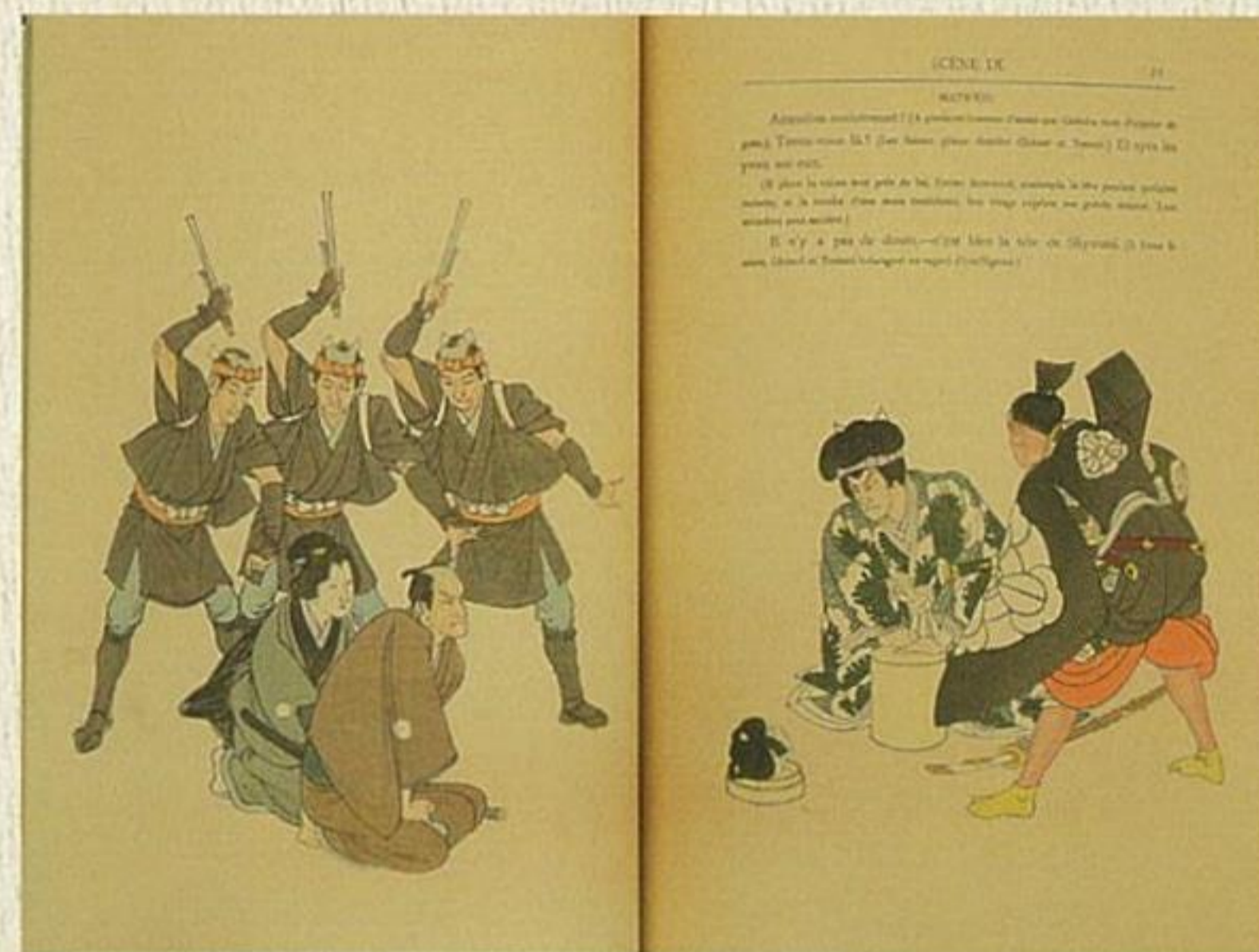
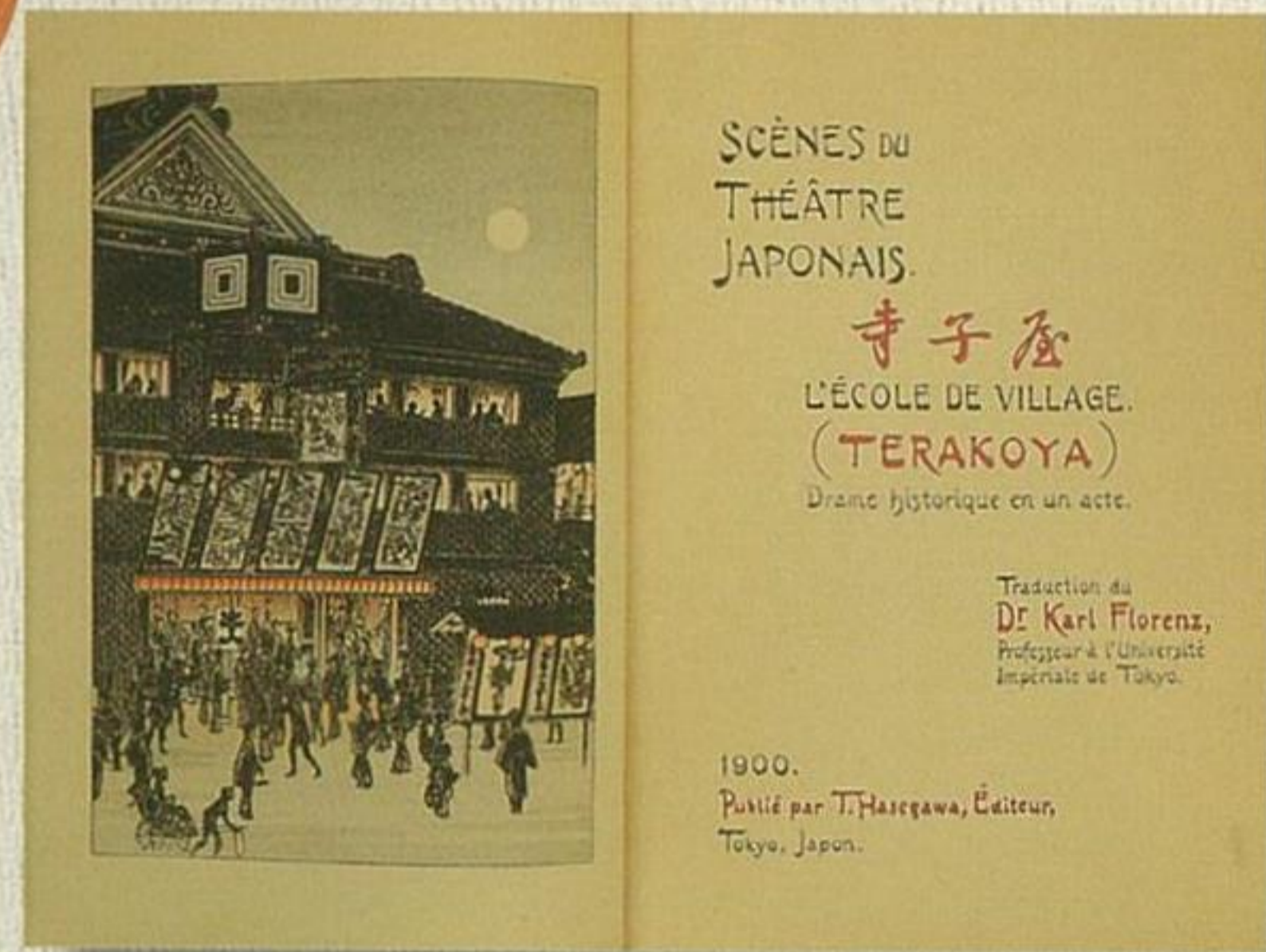
Karl.Florenz/著 新井芳宗/絵 明治33年(1900) 28.6×21.6cm



長谷川武次郎が明治33年(1900)にパリ万国博覧会へ出品するために準備した、奉書紙を使用した大型本の1冊。歌舞伎「菅原伝授手習鑑」の「寺子屋」の段をカール・フロレンツがフランス語訳したもので、3頁の序文と28頁の本文に加え、歌舞伎座の劇場の構造、音楽や回り舞台を回す様子などが9頁にわたり紹介されている。表紙は芝居小屋の客席を描いた美しいカバーが付けられ、「SCENES DU THEATRE JAPONAIS」と記されている。同年9月には『生写朝顔話』『宿屋』段を加え、ちりめん本でドイツ語訳本(「Japanische Dramen Terakoya und Asagao」)が出版され、こちらもパリ万国博覧会に出品された。当館本はちりめん本に先行して博覧会出品のために制作されたもので、本書が国内に収蔵されていることは奇跡という他ない。



36



【参考図版】Japanische Dramen Terakoya und Asagao (日本の芝居 寺子屋・朝顔) 明治33年(1900) 梅花女子大学図書館所蔵

37

